

TOCHIGI CITY ASSEMBLY NEWS

とちぎ市議会だより

第56号(12月定例会)
2023.2.20発行

天までとどけ

| | |
|---------------|-------|
| 特集 常任委員研究会 | 12 |
| 請願・陳情の審査 | 13 |
| 議会報告会(意見交換会) | 14～15 |

| | |
|-----------------|------|
| 一般会計補正予算(第7号) | 2 |
| (12月定例会で決まったこと) | |
| 表紙写真の説明 | 3 |
| 17人の議員が市政を質す | 4～12 |
| (一般質問) | |

12月定例会で決まったこと(主な議案等)

12月定例会で審査した主な議案等についてお知らせします。各議案の詳細については、市議会ホームページの議案書をご覧ください。下記のQRコードをご利用になると、簡単にアクセスできます。



一般会計補正予算(第7号)

議案第114号
令和4年度一般会計補正予算(第7号)

可決 全会一致

議案の概要

歳入歳出予算にそれぞれ11億2859万9千円を追加し、予算総額を717億8066万円とするもの。主な内容は、電気料金高騰に対応するための公共施設や小中学校の管理運営費、道路新設改良費、災害対策費などである。

主な質疑応答

質 マイナンバーカード普及事業費の事業概要は

答 県内各市町のマイナンバーカードの取得率を向上させるため、県が実施するマイナンバー出張サポート事業に対する負担金であり、

栃木市においては市内の商業施設で8回実施し、1回当たりの負担金が30万円となることから、計240万円を増額補正するものである。

質 自立支援・障がい児通所等給付費が増額となる理由は

答 障がい児の通所等の給付費の伸びが大きかったため、傾向としては近年、低年齢化が進んでおり、1歳児、2歳児において療育の人数が増えていることが主要因と考えられる。

質 大平運動公園の光熱水費がほかの公園施設に比べて高額となっている理由は

答 大平運動公園には高圧電力の夜間照明が2か所設置されており、多くの電力を使用している。また、現在高圧電力の値上がり幅が低圧電力と比べて大きくなっていることもあげられる。



学校でのマスク着用基準の周知強化を

請願第1号 子ども達のマスク着用の自由化と学校給食時の黙食緩和の啓発に関する請願書

採 択 2
不採 択 24

主な意見

採択すべき
本市の教育委員会でも対応していただいているが、保護者からは国からの通達徹底されていないのではないかと意見があり、さらなる対応を求めたい。

不採択とすべき

請願の趣旨は周知徹底をお願いしたいとのことだが、県教委を通じて市教委から各学校に通達されていると理解する。また、11月29日に文部科学省から給食中の黙食を求めずと見解も出されているが、本通達も市内各学校に周知されると思うので、不採択とする。

請願の趣旨は十分に理解できるが、第8波を迎えているので時期が悪い。今実施するとすると、学校教育現場で子ども同士の人間関係の悪化につながる可能性も考えられる。

討論(議案第123・124号)

反対(内海議員)

期末手当の規定しかない議員と会計年度任用職員の間で改定状況に違いが出るのは矛盾している。国の言うとおりではなく、現状に合わせた柔軟な改定を行うべきであり、本来改定の恩恵を得るべき職員に対応しないことから反対する。

賛成(浅野議員)

人事院勧告による引き上げだけでなく、引き下げについても勧告を尊重し国の例にならうて条例を改正してきた経緯も踏まえ賛成する。

討論(議案第120・130・131号)

反対(白石議員)

いずれの議案も落札率が95%以上であり、全国落札率調査等を踏まえると談合の疑いが極めて強いと言わざるを得ない。予定価格の事前公表の弊害は明らかであり、事後公表へ切り替えるべきであることから反対する。

賛成(梅澤議員)

いずれの工事も事後審査型条件付き一般競争入札の方法により、所定の手続きを経て契約の相手方を決定したものであり、都賀地域の拠点施設としてまちづくりを推進するために必要な施設であることから賛成する。

本会議の表決前に、他の議員の賛同を得るために、討論が行われた議案の番号と発言した議員名は次のとおりです。(○=賛成 ●=反対)

- 議案第122・123・124号 ●内海 まさかず 議員 ○浅野 貴之 議員
 議案第129・130・131号 ●白石 幹男 議員 ○梅澤 米満 議員
 議案第132号 ●針谷 育造 議員 ○梅澤 米満 議員

議案等の審議結果

12月定例会では、議案26件、請願1件、陳情2件が審査されました。

賛否が分かれた議案等の各議員の賛否は以下のとおりです。

賛成：○ 反対：● 欠席：-

| 番号 | 件名 | 採決結果 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
|---------|---|------|----------------|--------------|---------------|-----------------|----------------|---------------|---------------|---------------|--------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|------------------|---------------|---------------|----------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------------|----------------|--------------|---------------|
| | | | 川田 俊介 真政クラブ | 小太刀孝之 創政会 | 市村 隆 真政クラブ | 雨宮 茂樹 公明党議員会 | 森戸 雅孝 真政クラブ | 浅野 貴之 かがやき | 小平 啓佑 自民未来 | 大浦 兼政 自民未来 | 針谷 育造 創志会 | 古沢ちい子 公明党議員会 | 大谷 好一 自民未来 | 坂東 一敏 かがやき | 内海まさかず 創志会 | 小久保かおる 公明党議員会 | 青木 一男 自民未来 | 松本 喜一 自民未来 | 梅澤 米満 真政クラブ | 天谷 浩明 かがやき | 針谷 正夫 かがやき | 広瀬 義明 自民未来 | 氏家 晃 自民未来 | 福富 善明 無会派 | 福田 裕司 創政会 | 中島 克訓 無会派 | 大阿久若人 真政クラブ | 小堀 良江 真政クラブ | 白石 幹男 無会派 | 関口孫一郎 自民未来 |
| 議案第122号 | 栃木市職員の降給に関する条例の制定について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 議案第123号 | 栃木市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 議案第124号 | 栃木市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 議案第129号 | 工事請負契約の締結について（仮称）都賀総合支所複合施設新築工事 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 議案第130号 | 工事請負契約の締結について（仮称）都賀総合支所複合施設新築電気設備工事 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 議案第131号 | 工事請負契約の締結について（仮称）都賀総合支所複合施設新築機械設備工事 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 議案第132号 | 工事請負契約の締結について（とちぎクリーンプラザ基幹設備改良工事） | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 請願第1号 | 子ども達のマスク着用の自由化と学校給食時の黙食緩和の啓発に関する請願書 | 不採択 | × | × | × | × | × | × | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | - | × | ○ | × | × | |

※その他の議案等21件は全会一致で可決されました。

表紙の写真 天までとどけ

今回の表紙の写真は、11月3日に行われた栃木市立美術館開館記念イベントで豊年太鼓を演奏する「くらのまち保育園」の園児たちです。

豊年太鼓はその昔、豊作を願った農民の思いが太鼓の音に乗って天までとどき、やがて大粒の慈雨（じう）が大地を潤し、豊作に恵まれたと伝えられています。

美術館にたくさんの人たちが訪れるよう、願いを込めた園児たちの元気な太鼓の音が天までとどいたことでしょう。

（撮影協力：くらのまち保育園 表紙撮影：市村・雨宮委員）





小久保 かおる 議員
公明党議員会

**世界初の「带状疱疹啓発週間」が
できたことを踏まえた周知活動を**

GSK社がワクチン接種に関する意識調査を全国の50歳以上の男女6千名に実施したところ、带状疱疹ワクチンの認知度が16%だったのに対し、インフルエンザが86%、コロナが90%と顕著な違いが確認された。带状疱疹は50歳を過ぎると急激に増加し、80歳までに3人に1人が発症するというデータがあり、高齢で発症すると痛みのため生活に支障が出るといわれているが、予防と周知活動はどのように行われているのか。

答弁 首長保健福祉部長

**あらゆる媒体を活用し、
周知を図っていく**

带状疱疹は体内に潜伏していたウイルスが加齢や疲労、ストレスなどにより、免疫力が低下した際に再活

- 命を守る教育
- 带状疱疹
- マイナンバーカードの取得

性化して発症する。

毎年約60万人が発症し、その約7割が50歳以上で、体の片側に水泡を伴う紅斑が带状に広がり、3〜4週間痛みを伴うことが多く、まれに重症化し、带状疱疹後神経痛を引き起こすこともある。

予防策としてはワクチン接種も有効といわれているが、十分な睡眠、バランスの良い食事、適度な運動などの健康的な生活習慣を保ち、免疫力を高めることが最も有効であることから、带状疱疹の特徴や免疫力を高める活動などをホームページ等、あらゆる媒体を活用し、周知を図っていく。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



針谷 正夫 議員
かがやき

**西方城跡の国史跡指定に
向けた取り組みは**

令和4年9月25日に開催された西方城跡シンポジウムは定員400人近い人が参加し、これまでの調査結果が報告された。

西方城跡の発掘が終了した現在、予定では令和5年度の国史跡指定を目指して、地権者説明会開催に向けた種々の作業を進めていると承知しているが、国指定に向けた事業の進捗状況と今後のスケジュールについて伺う。

答弁 名淵教育次長

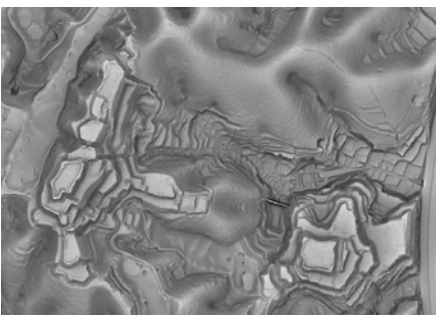
**意見具申に必要な事務や
作業を効率的に進めていく**

今後のスケジュールについては、令和5年度中に国史跡指定の意見具申が行えるよう、さまざまな取り組みを同時並行的に進めていく。

- 読書活動を推進する条例の制定を
- 西方城跡の国史跡指定

まず、赤色立体図や遺構図等の作成、発掘調査の成果の取りまとめ、報告書の執筆作業等、調査報告書の刊行に向けた作業に引き続き取り組んでいく。

また、国史跡指定予定範囲の地権者の確認や地権者説明会の開催、同意を得るために必要な書類の作成などを行い、地権者の同意を得ていく。このように取り組むべき事項が多く、スケジュール的には厳しい状況にあるが、引き続き意見具申に必要な事務や作業を効率的に進めていく。



西方城跡赤色立体図



内海 まさかず 議員
創志会

**市長、市議選に続く不正、もはや
栃木市の風土、体質ではないか**

この7月に行われた農業委員会
長選挙において前農業委員会会長が
贈賄容疑で書類送検された。農業委
員会は3年前の参議院選挙におい
ても、特定候補者に対する便宜供与が
当時の会長の関与で行われ問題とな
り、会長が議会に対しても説明、謝
罪している。この4月の市長、市議
選でも違法行為があり、選挙での不
正は栃木市の風土となっていないか。
農業委員会は、教育委員会や選挙
管理委員会同様、独立した行政委員
会で、非常勤特別職の公務員であり、
その自覚が必要である。この会長選
挙において、どのような不正が行わ
れたのか。

【答弁】 若色農業委員会会長

**事件が確定次第
速やかに報告したい**

- 農業委員会会長選挙における不正
- 上下水道料金の値上げ
- サッカースタジアム問題

本年7月19日をもって農業委員の
任期が満了となることに伴い、公募
により選出された候補者を選考委員
会が審査し、市長が議会の同意を得
て農業委員を任命した。

その中から会長を選出するに当た
り、任命日となる20日の総会に選出
方法を諮ったところ、投票による方
法が議決され、執行されたものであ
る。

その際、選挙に立候補した3名の
うち2名が他の農業委員に対して金
品等を贈与し、収賄に関わった農業
委員がいることも確認している。

なお、この贈収賄に関わった疑い
のある委員3名については、既に辞
任している。今後については、事件
が確定次第速やかに報告したいと考
えている。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



小太刀 孝之 議員
創政会

**今まで以上にスポーツ大会の
積極的な誘致を**

今回の国体および障がい者スポー
ツ大会開催は、本市を全国の方に
知っていたただく機会になった他に、
市内観光や地域の特産物などに興味
をもってもらうことによる経済効果
にもつながったと考える。また、大
会を通じさまざまなノウハウの蓄積
ができ、対象となった施設等の改修
が行われた。

これらをきっかけにして今まで以
上にさまざまなスポーツ大会誘致を
積極的に取り組む必要性があると思
うが、市の見解を伺う。

【答弁】 永島地域振興部長

**本市で大会開催を希望される
競技団体の増加に努めていく**

国体および障がい者スポーツ大会
の開催により蓄積された運営のノウ

- マイナンバーカード取得率向上
- 就職氷河期世代への取り組み
- いちご一会とちぎ国体

ハウや、整備された施設等、国体に
おけるレガシーの継承により、今後
も多くのスポーツ大会を開催してい
くことが必要であると認識している。

スポーツ大会の開催は、競技ス
ポーツの振興や市民のスポーツに対
する関心・意欲を高めるだけでなく、
交流人口の拡大を通じ、地域活性化
が図られることから、各競技団体と
の連携を維持し、大会誘致の働きか
けを行っていく。

また、国体開催施設としての価値
や、本市におけるスポーツ環境の魅
力についての情報発信を行い、本市
で大会開催を希望される競技団体の
増加に努めていく。



子育て施策のさらなる拡充を



雨宮 茂樹 議員
公明党議員会

現在、栃木市の赤ちゃん誕生祝い金は、第2子からの支給となっているが、支給対象を第1子からに拡大する考えはないか伺う。また、共働き世帯の増加により、幼児教育、保育の低年齢化が進む中、0〜2歳児の保育料の無償化で、国や県の対象外となる世帯への支援拡大が必要と考えるが、市の見解を伺う。

答弁 石川こども未来部長

国県の動きや近隣の状況も踏まえて、今後検討していく

赤ちゃん誕生祝い金の拡大については、子育て世帯から経済的支援の要望があることは承知している。

本年11月に、国が妊娠、出生届出時に計10万円を支給する「出産・子育て応援交付金」を創設したため、本市においては、本制度を速やかに

- 子育て支援の拡充
- 大宮地区・国府地区の道路、通学路整備

導入し、経済的に支援していく。

また、0〜2歳児の保育料無償化の拡充については、本市においては現在、住民税非課税世帯のほか、課税世帯の一部や、ひとり親世帯、在宅障がい者世帯の一部に対し無償となっている。これらに該当しない世帯についても、所得状況に応じ、第2子の保育料が2分の1軽減となっており、第3子以降の児童については、所得や世帯状況に関わらず、全ての児童が保育料等無償となっている。

0〜2歳児の保育料完全無償化については、国県の動きや近隣の状況も踏まえて、今後検討していく。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



専門学校開校に向けての市としての決意は



針谷 育造 議員
創志会

「全国地域チャンピオンズリーグの決勝ラウンドで敗れた、栃木シティフットボールクラブ無念、JFL昇格を逃す、決定力不足浮き彫り」と、地元新聞は報道しており、関東リーグ1部に、来年の残留が決まった。

そこで10月末日のプロフットボール学科、フットボールビジネス学科、マネージャー・ホペイロ学科の学生の応募状況を伺う。

また開校できる最低人数は何人になるのか。

答弁 癸生川総合政策部長

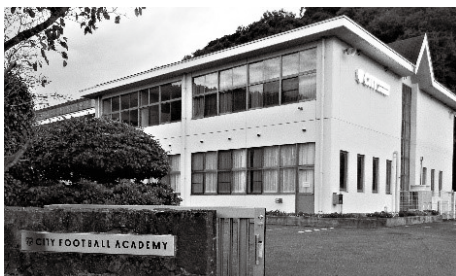
順調に開校できることを願っている

専門学校の応募状況については、明らかにされておらず、お答えでき

- とちぎクリーンプラザの入札
- 仮称・第2次栃木市総合計画
- サッカー専門学校の開校見通し

ないが、6月1日のAO入試エントリー開始以降、オープンキャンパスや進学相談会の開催、学校訪問など、学生の募集が進められており、開校に向けて引き続き募集活動を鋭意行っていくと聞いている。

開校できる最低人数については、学校法人としての認可を受けるため、事業計画に記載された定員80名を充足することが必要であると認識している。



開校が心配な栃木シティ学園

公共工事の品質確保の促進に関する法律の遵守を



大谷 好一 議員
自民未来

労務費、原材料費等の取引価格を反映した適正な請負代金や、納期の実態を踏まえた適正な工期の確保を図るため、請負契約の締結に当たっては、公共工事標準請負契約約款第26条および、第22条を適正に設定・運用するとともに、公共工事の品質確保の促進に関する法律の趣旨を踏まえて適切な対応を図るよう、国土交通省から各都道府県知事あてに通知されているが、本市の対応について伺う。

答弁 大野経営管理部長

状況に応じて、請負代金額や工期を変更する

労務および資材等の価格の著しい変動や資材等の納期遅れにより工事費用や工期の変更が必要となった場



- 令和5年度予算編成方針
- 公園管理業務の拡大
- 最近の建設業を巡る状況

合は、国の指針等により、発注者には、費用や工期を確保するための変更契約を締結するよう必要な措置を講ずることが求められている。

これを具現化するため、国が定める公共工事標準請負契約約款第26条は、賃金または物価の変動に基づく請負代金額の変更を、第22条は受注者の請求による工期の延長を規定しており、本市の約款は、これを踏まえた内容となっているため、状況に応じて、請負代金額や工期を変更することが可能である。

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



来年度予算のあらましと重点施策について伺う



浅野 貴之 議員
かかやき

市長は、6月定例会の所信表明の中で、選挙公約である「とちぎ未来創生プロジェクトII」の実現に向け、3つの柱と10の約束について示し、目指すは「夢と希望の持てる栃木市の実現」とあったが、それを予算ではどのように具現化するのか。

答弁 大川市長

強く優しいまちづくりに重点的に取り組む

令和5年度予算の基本的な考え方については、所信表明でも述べたとおり「とちぎ未来創生プロジェクトII」に掲げる「命を守る安全で安心なまちづくり」、「持続可能なまちづくり」、「100年人生のまちづくり」

- 令和5年度予算編成方針
- 学童保育の充実

という3つの柱を実現するため、財源の確保に注力して「10の約束」を着実に推進することである。

具体的な事業や費用については、今後決定するが、治水対策や感染症対策、地域経済の活性化、SDGs、脱炭素化やデジタル化の推進、乳幼児から高齢者まで誰もが幸せを実感できる強く優しいまちづくりに重点的に取り組むほか、台風災害の影響により実施を控えていた各種大型事業を開始する。

令和5年度は、本市が着実に前進するための大型予算になる見込みであるが、真に必要な事業に経営資源を集中することにより、効率的な行政運営を推進していく。





川田 俊介 議員
真政クラブ

子ども自身が安心して生活できる環境を

子どもの未来は社会の未来といえるが、子ども自身が安心して生活できる環境がなければ、真の子育て支援・少子化対策とは言えない。

虐待やネグレクトを未然に防ぐ、子育てに不安を抱える家庭に対する幼少期からの支援の充実・拡充が必要であると考え、児童相談所案件になる前の虐待・ネグレクトなどに対して、市としてどのような支援を行っているのか伺う。

答弁 石川こども未来部長

虐待の予防や、早期の支援に努めている

本市では、子どもの虐待、ネグレクトに関する相談や通告を受けた場合、関係機関等から必要な情報を収集した後、速やかに対応内容や方法

●人口減少・少子化を防ぐための子育て政策

等を検討し、子どもの安全確認、緊急度の判断、保護者への面接等を行い、支援方針を決定している。その後は、定期的な家庭訪問や親への指導・助言、関係機関との連携により、状況の改善を図っている。

問題を抱える家庭に対する市の支援としては、育児や家事の援助、養育に関する技術指導を行う養育支援員家庭訪問事業、育児不安や育児疲れ等による身体的・精神的負担の軽減を図るため、一時的に子どもを預かる子育て短期支援事業、家庭で十分な養育を受けられない子どもに対し、日常生活に必要な生活習慣を身につけさせ、健全な成長と自立を支援する子どもの居場所運営事業等を実施し、虐待の予防や、早期の支援に努めている。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



市村 隆 議員
真政クラブ

現在の経営者を選定する際に、庁議に諮ったのか

観光農園いわふねの民営化について、市はかねてから希望していた地元社会福祉法人ではなく、現在の経営者を選定した。この選定には不透明な点が多いが、現在の経営者を選定した理由と経営に関する責任について伺う。

また、市の最終判断は最高決定会議である庁議で決定することであるが、増資に関する要望書を含めた観光農園いわふねに関する一連の判断が庁議に諮られ、決定されたのかを伺う。

答弁 秋間産業振興部長

経営者の選定は、最終的に臨時株主総会において承認された

経営状況の厳しい観光農園いわふ

- 観光農園いわふね
- 合併時の予算と合併特例債
- 行政改革と栃木市が目指すまちづくり

ねの抜本的な改善を図るためには、民間の経営ノウハウを取り入れた農園事業の再構築と経営の安定化が不可欠であり、当該会社の財政力・実効性・経済効果等を総合的に判断し、市から当該会社への経営権移譲を指し、議会への説明も踏まえつつ、最終的に臨時株主総会で承認された。なお、今後の経営に関する責任は、経営陣に帰するものと捉えているが、市では単独株主権や少数株主権を有しており、必要に応じて権利を行使し、対応していく。

また、増資に関わる承認については、会社法に基づき、観光農園いわふねが株主総会で決定することであり、庁議には諮っていない。





白石 幹男 議員
無会派

シルバー人材センターへの
支援策を！

シルバー人材センターはインボイス制度の導入で、その存続が危ぶまれている。

会員は個人事業主として扱われるため、会員がインボイスを発行しなければ、シルバー人材センターが消費税の仕入税額控除をできず、多額の納税負担が発生することになり、栃木市シルバー人材センターもその対応に苦慮している。

市として、何らかの支援策を考へるべきだと思ふが、シルバー人材センターへの影響とインボイス制度導入による対応について伺つ。

答弁 首長保健福祉部長

税負担が生じない方法を検討している国の動向を注視していく

- 消費税のインボイス制度導入
- 総合支所機能のあり方
- 栃木西部地域の中学校統合同題
- ごみ行政

シルバー人材センターでは、ほとんどの会員が正確な適用税率や税額等を伝える手段である適格請求書、いわゆるインボイスの発行ができなると予想され、消費税分をシルバー人材センターが納付するものとされている。

国は、制度導入にあたり仕入控除の経過措置を設ける予定であるが、完全導入となる令和11年10月から、年間で約3500万円の負担となる見込みであり、シルバー人材センターでは理事会で協議を重ね、現時点では段階的な事務費引き上げにより対応する予定と報告を受けている。

なお、国では、シルバー人材センターに税負担が生じない方法を検討しているとの情報もあり、その動向を注視していく。

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



大浦 兼政 議員
自民未来

旧警察署跡地は栃木市民の
財産であることを忘れずに!!

旧警察署跡地は栃木駅からのアクセスも良く、また大通りに面し、市民も行政も利用する重要かつポテンシャルの高い場所である。

活用次第では栃木市の未来を変えることもできるが、たくさんの方からいろいろな意見が出ていることに對し、市はどのように意見をまとめていくのか。

現在の計画と今後の活用方法についての考えを伺つ。

答弁 宇梶都市建設部長

土地利用方針を取りまとめ、
利用事業者の募集を行う

旧栃木警察署跡地は蔵の街大通りに面した蔵の街とちぎの玄関口に位置し、面積は5144㎡の市有地である。

●どうするの？
旧警察署跡地の活用

平成20年に栃木警察署が移転し、平成27年には土地利用事業者の公募を行ったが、相応しい提案がなくその後はとちぎ秋まつりの臨時駐車場や、フリーマーケットのイベント等に利用されてきた。

当地は、蔵の街エリア全体の魅力向上につながる「観光・交流拠点」としての土地利用を想定しており、市が所有しつつ民間との連携による利活用を考えている。

今後は、9月から10月に行われた社会実験の検証結果や市民の意見等をもとに、土地利用方針を取りまとめ、来年度土地利用事業者の募集をしていく。





小平 啓佑 議員
自民未来

来年度から具体的にどのように実現させていくのか

スポーツ庁が令和 4 年 6 月に学校部活動を地域移行していく旨の発表を行った。これを受けて、栃木市でも地域スポーツ団体や学校等の代表者などで構成した検討会議において基本方針を策定し、部活動の段階的な地域移行を推進していく方針であると聞いている。

令和 5 年度の休日から段階的に始まる中学校運動部活動の地域移行について、実現に向けてのプロセスをどのように考えているのか伺う。

答弁 名淵教育次長

基本方針の作成、モデル事業等の検討を進める

地域移行の実現に向けての取り組みとして、今年度は、庁内関係課の担当者で組織した作業班が実施した

●中学校部活動の地域移行

中学校の校長、体育主任、部活動主任対象のアンケート調査の結果や運動部活動の実態等をもとに、検討会議において、調査結果等を分析した。

調査結果に基づき、課題や対策を明確にした上で、基本方針の作成、モデル事業等の検討を進め、来年度には、地域スポーツ団体等にご協力をいただきながら、モデル事業を実施するとともに、その取り組みを検証し、成果・課題を整理した上で、各学校・地域において、部活動の地域移行を進めるよう努める。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



天谷 浩明 議員
かがやき

所有者に対しても責任・責務を意識していただくためには

空き家の対応については、空き家バンク等が好評ではあるが、さまざまな要因で空き家が目立っており、行政の施策だけでは進まない状況にある。

所有者に対しても責任・責務を意識していただくために、さらなる対応が必要であると考え、執行部の考えを伺う。

答弁 宇梶都市建設部長

若年層への広報活動の強化に取り組んでいく

今後進行する高齢社会では、新たに発生する空き家をいかに抑制するかが重要であり、今年度より空き家発生予防セミナーを実施している。

さらなる対応としては、最近は相続放棄等により所有者不明の空き家

- 自転車（軽車両）の安全通行
- 空き家の更なる対応は

も増えているので、空き家対策PRのための動画を配信するなど、相続人となる若年層への広報活動の強化に取り組んでいく。



用語解説

空き家バンクとは

栃木市では、賃貸・売買可能な空き家等を市に登録していただき、市のホームページで登録情報の提供を行い、利用希望者に紹介しています。



森戸 雅孝 議員
真政クラブ

糖尿病予防と重症化防止に向けた対策は

11月14日は世界糖尿病デーであり、さらに11月は栃木県糖尿病予防と重症化防止強化月間である。

糖尿病はがんとならび、国民病といわれており、県内で2020年時点において、糖尿病の治療を受けている患者の数は8万3千人に上っている。

その約9割は、生活習慣や体質に起因するⅡ型糖尿病と言われており、医療費抑制の点からも対策の強化が必要と考えるが、その対策について伺う。

【答弁】 首長保健福祉部長

健康的な生活習慣への改善を促している

糖尿病の予防は、その兆しを早期発見するための定期的な健康診査受

- 市内小中学校児童生徒の不登校
- 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行の懸念
- 市民の健康管理意識向上への取り組み

診が重要となるので、受診率の向上に努めるとともに、予備軍の方への特定保健指導に力を入れている。

そのため、健診の結果、予備軍となった方に向けた糖尿病予防教室、および人工透析への移行リスクの高い方を対象とした糖尿病性腎症重症化予防の保健指導を実施し、食事、運動の両面から、健康的な生活習慣への改善を促している。

また、かかりつけ医の紹介により、食生活改善を指導する病態別栄養相談や、治療を中断している方に対しては、治療継続の勧奨通知を送付するなど、さまざまな対策に努めている。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



氏家 晃 議員
自民未来

次期「栃木市教育計画」における基本理念は

今年度をもって現教育計画の期間が終了する。

これからの社会は、グローバル化や情報化が急速に進行し、さまざまな問題が絡み合い、予測困難なものになると想像する。

こうした中で、未来の社会を・未来の栃木市を担う子どもたちをしっかりと育てていく重要な役割を果たすのが教育であると考えている。

次期「栃木市教育計画」における本市教育振興の基本理念について伺う。

【答弁】 青木教育長

誰一人取り残さない教育を進める

次期教育計画の基本理念については、本市名誉市民である山本有三先

- 次期「栃木市教育計画」
- マイナンバーカード取得率向上に向けての取り組み

生が遺した一節に代表される言葉や精神を、現在の教育計画から大切に引き継ぎ、根幹に据えている。

また、策定懇談会での協議から導いたこれからの教育に関する4つのキーワード、「生命尊重・人権尊重」、「生きる力・生き抜く力」、「多様性・包摂性」、「郷土愛」を踏まえ、基本理念については、「希望に向かい伸び伸びと個性を発揮し、互いに認め合いながらより良い社会を築いていく」とちぎ愛に満ちた人を育てます」と定めていく。

この理念には、本市の子どもたちに誰一人取り残さない教育を進めること、また市民一人一人の人生を豊かにするような教育を進めることなど、本市の未来を輝かせるための人づくりへの思いが込められている。



広瀬 義明 議員
自民未来

市・市民・事業者が一体となり、環境保全の取り組みを

今年度中に新しい栃木市環境基本計画が策定される。

今後の本市の環境施策の根本となるものであるが、国や県への追従型の感が否めない。

本市の課題に特化した施策の展開が重要だが、まずは市民・事業者への理解・認識の醸成を強く進めるべきである。

総合計画策定懇談会においても意識の低さが指摘され、環境保全に対する意識の高揚を図るべきであると結論付けた。

行政のごりなる施策展開を求める。

【答弁】 瀬下生活環境部長

環境マナー意識の向上等の施策を一丸となって推進していく

● 栃木市の環境施策
○ 栃木市下水道事業

本市では、平成23年に「栃木市環境基本条例」を制定し、その後、「環境都市宣言」、「環境基本計画」の策定等を行い、「豊かな自然と歴史みんなでつなぐ環境都市とちぎ」という共通の目標に向かい、市民、事業者、市が一体となってさまざまな環境保全対策を実施してきた。

しかしながら、市民アンケートによると、環境保全の重要性についての認識は高いものの、環境保全への取り組みについては、約4割の方々が取り組んでいないとの結果になった。

このため、第2次環境基本計画においては、「地球温暖化対策の推進」とともに、「人と自然が共生する栃木市」、「安心して快適に暮らせる栃木市」を基本目標として掲げ、生態系や、水環境の保全、環境マナー意識の向上等の施策を市民、事業所、市が一丸となって推進していく。

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



▶ 上下水道事業に関する勉強会を行いました（建設常任委員研究会）

建設常任委員会では、10月24日に「上下水道事業について」をテーマに勉強会を行い、執行部から上下水道事業の概要、公営企業会計、現在の上下水道事業の経営状況および栃木市の上下水道事業の特徴などについて説明を受けました。

委員からは、漏水の修理件数とそれに伴う経費の詳細や塩化ビニル管の更新計画、有収率が改善した場合の収支への影響などについて質問があり、上下水道事業に対する理解をより一層深める機会となりました。

今回調査研究を行った事項については、今後の所管事務審査の参考としていきます。

上下水道事業については、建設常任委員会の委員長・副委員長が調査委員会の会議にも出席しているよ。



執行部の説明を受ける建設常任委員

政府に2024年介護保険制度の検討に際し、「介護保険制度改正案」の見直しを求める意見書の提出を 栃木市議会に要請する陳情書（提出者：栃木市特別養護老人ホーム養護老人ホーム連絡協議会）



【陳情事項】

- (1)2024年度介護保険制度改正に当たり、介護保険の利用に新たな困難をもたらす以下の項目について見直しを行わないこと。
 - ①利用料の2割、3割への引き上げ。②要介護1、2の生活援助等の介護保険給付外し。③ケアプランの有料化。④現在貸与としている福祉用具を購入に変更。⑤テクノロジー機器の導入と引き換えとする職員の配置基準の引き下げ。
- (2)全額公費により、介護報酬の引き上げと全ての介護従事者の給与を全産業平均賃金水準まで早急に引き上げ、介護従事者を大幅に増やし、1人夜勤を解消し人員配置基準の引き上げを行うこと。

本陳情は、民生常任委員会において審査を行い、「制度の中で現場は疲弊しており、利用者やその家族も心配しながらサービスを受けている状況にある。このような現場の声を、栃木市議会として届けることは非常に重要だと考える。」などの意見があり、採択すべきものとなりました。

また、定例会最終日の本会議においても全会一致で採択となりました。

栃木特別支援学校寄宿舎の存続を求める意見書の提出に関する陳情書

（提出者：栃木特別支援学校寄宿舎の存続を求め未来につなぐ会）



【陳情事項】

「栃木特別支援学校寄宿舎の存続を求める」意見書を採択し、栃木県および栃木県教育委員会に提出していただくこと。

本陳情は、産業教育常任委員会において審査を行い、「県も態度を軟化させているので継続審査でもよいと考えるが、3月末までの閉舎には反対であるので、今後のあり方を含めた意見書を提出するというので賛成である。」などの意見があり、採択すべきものとなりました。

また、定例会最終日の本会議においても全会一致で採択となりました。

子ども達のマスク着用の自由化と学校給食時の黙食緩和の啓発に関する請願書

（提出者：栃っこ未来育推進会）



【請願事項】

- ①子ども達の個人の意思を尊重するため、「マスク着用に関して、本人が息苦しいと感じる際は、自らマスクを外すよう声掛けをする」といった内容の通達を、教育委員会・行政関連の発出により、現場に周知徹底をしていただきたい。
- ②児童・生徒の成長や発達への影響が危惧されたことにより、文部科学省が発出した「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」の改訂が行われた箇所について、各学校・教育委員会で再度、通達の変更の趣旨を周知願いたい。

本請願は、産業教育常任委員会において審査を行い、「請願の趣旨は十分に理解できるが、第8波を迎えているので時期が悪い。今実施するとなると、学校教育現場で子ども同士の間関係の悪化につながる可能性も考えられる。」などの意見があり、起立採決の結果、賛成少数で不採択とすべきものとなりました。

また、定例会最終日の本会議においても賛成少数（賛成2、反対24）で不採択となりました。



12月定例会で審査した3件の請願・陳情については、所管の常任委員会での審査に先立ち、常任委員研究会を開催し、請願等提出者から請願等の趣旨などについて意見聴取を行いました。採決結果の詳細等については、2・3ページをご覧ください。

高校生との意見交換会

- ・ 商業施設をもっと作る
- ・ 道路脇の雑草が道路にはみ出さないようにする
- ・ 駅の周りをもっと活性化させる
- ・ 学生同士の交流会が欲しい
- ・ 栃木市ならではの観光スポットが欲しい
- ・ 起業したい若者への支援
- ・ 選挙のデジタル化
- ・ 映画館を作る
- ・ 街灯を増やす
- ・ ふれあいバス高校生以下無料
- ・ 街をきれいにする
- ・ 人が集まれる（ライブやスポーツができる）大きな場所が欲しい
- ・ 若者に向けたイベントを開く など

みんなからの意見をまとめた提言書を市長に提出するよ。詳しくは、次号で紹介するね。



グループの意見を分類し、市の予算に見立てた100ポイントをどの事業に、どのくらい使うか話し合いました。



団体や市民の方と意見交換等を行いました。

産業教育常任委員会

視察：千塚小学校現地視察会（ALTの授業）

議員の所感

- ・ 手作りの教材などしっかりとした準備が行われており、同じ授業を担任一人で実施しようとしたら相当な負担になるように思える。
- ・ グローバルな人材を輩出するためにも、ネイティブな英語に触れる機会を増やすことは重要である。



建設常任委員会

テーマ：管工事業関連事業における現状と課題
相手方：栃木市公認管工事業協同組合組合員

主なご意見

- ・ 災害応援等に対応する災害対応班を編成し、行政と組合が一体となって体制を整える必要がある。
- ・ 現場での工事等に対する理解を得ることに時間がかかり、作業効率が悪化している。



議会 報告会

議会報告会 (意見交換会)



対面での意見交換会の開催は3年ぶりだよ。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりオンラインや書面等での開催が続いていた議会報告会(意見交換会)について、感染対策に留意し、テーマと対象者を限定したうえで対面での意見交換会を開催しました。

また、ウィズコロナ時代の新しい議会報告会として、書面や動画等のさまざまな方法を組み合わせて、市民の皆さまからご意見を伺いました。

今号では、意見交換会(高校生・各常任委員会)にご参加いただいた皆さまからの貴重なご意見の一部を紹介します。

【高校生との意見交換会】

●開催方法

全議員が4組の班を編成し、基本的な感染防止対策を講じつつ、担当する高校を訪問(1班につき2校を訪問)し、対面による意見交換会を開催しました。

●テーマ

「もし私が栃木市議会議員になったら」

●参加者

- ・市内各高等学校の生徒(栃木翔南高等学校、栃木高等学校、栃木商業高等学校、栃木女子高等学校、栃木工業高等学校、栃木農業高等学校、学悠館高等学校、國學院大學栃木高等学校)
- ・栃木市議会全議員



各常任委員会でテーマを決めて、関係する

総務常任委員会

テーマ：栃木市消防団組織の活動状況と課題
相手方：栃木市消防団員

主なご意見

- ・出勤団員を確保するためには、企業に対して消防活動の理解を深めていただくことが必要。
- ・機能別消防団員は日中の火災の際などに大変効果があるので、今後も積極的に勧誘し、活動していただきたいと考えている。



民生常任委員会

テーマ：子ども食堂の現状と課題
相手方：子ども食堂運営団体等関係者

主なご意見

- ・支援が必要な家庭に、子ども食堂の活動を伝えるといったアプローチをしていただきたい。
- ・行政が中心となって、団体同士、団体と行政が連携をし、情報交換をしていくネットワークの仕組みを作してほしい。





モニターインタビュー No.29

議会だよりの紙面を充実させるため、アンケートにご協力をいただいている「議会広報紙モニター」にインタビューするコーナーです。（今回のインタビュアー：小太刀委員）



議会広報紙モニター
深津 悟子さん

Q：モニターをやってみて思ったことは

A：モニターに声を掛けていただいて、議会に目を向けることができ、議会だより、ケーブルテレビ等で議員の思いを知ることができました。

Q：議会のイメージは

A：議会とは私には程遠い場所だとずっと思っていたのですが、実際は市民に一番近い方々であり、議会は市民の声を聞いていただける身近な場所であると思います。

Q：栃木市に期待することは

A：子育てはもちろんのこと、学業(奨学金制度等)や就労の環境が整い、若い人たちが住みやすく将来に希望が持てる市に発展して欲しいです。

3月定例会の予定 (変更になる場合があります)

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------|-------------------|---|-------------------|---------------|-----------------------------------|-----|
| 2/19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| | | | | 天皇誕生日 新聞折込 | 本会議 議案等提案 予算特別委員会 予算概要説明 | |
| 26 | 27 | 28 | 3/1 | 2 | 3 | 4 |
| | | | | 本会議 『一般質問』 | | |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| | | 常任委員会・予算特別委員会分科会 (総務) (民生) (産業教育) (建設) | | | | |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| | 予算特別委員会 会派代表質疑 | 春分の日 | 予算特別委員会 分科会長報告 | | | |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 4/1 |
| | 本会議 議案等採決 | | | | | |

日程と一般質問の内容は、確定次第、ホームページ等でお知らせするほか、2月23日(木)に新聞折り込みを予定しています。

また、一般質問の様子は、ケーブルテレビや市議会のホームページからもご覧いただけます。

ぜひ、ご覧ください。



栃木市
マスコットキャラクター
とち介

栃木市議会広報委員会

12月議会は4人の新任議員全員を含む17人の議員が一般質問に登壇し、新型コロナウイルス感染症第8波の中においても、感染対策に努めながら内容の充実した質問を展開しました。

特集では、開かれた議会を市民の皆さまにお伝えする議会報告会の一環として、市内各高校にて高校生を対象に実施した意見交換会や各常任委員会での活動の様子を掲載しております。

市民の皆さまにとって2023年も素晴らしい年になりますようにご祈念申し上げます。
(小平 啓佑記)

写真アドバイザー

- | | | | | | | | | | |
|------|------|------|--------|------|------|-------|------|------|------|
| | 委員 | 委員長 | | | | | | | |
| 若松千草 | 白石幹男 | 青木一男 | 内海まさかず | 坂東一敏 | 小平啓佑 | 小太刀孝隆 | 川田俊之 | 雨宮茂樹 | 天宮浩明 |

目の不自由な方のために、市内の朗読ボランティアが議会だよりの音声テープを作成しておりますので、ご入用の方はお気軽に議会事務局までお問い合わせください。〈TEL：0282-21-2505〉